

# 東京 2020 オリンピック聖火リレーについて

## 1. 聖火リレーとは

オリンピックの聖火は、平和や希望の象徴とされています。ギリシャの古代オリンピックの太陽光から採火されたオリンピックの聖火は、開催国においてオリンピックムーブメントの最も力強い象徴となり、聖火ランナーにより全国をつないでいきます。東京 2020 聖火リレーのコンセプトは“希望の道を、つなごう”です。支え合い、認め合い、高め合う心（聖火リレーの3つの心）でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らし出します。

昨年3月26日、福島県のグランドスタート直前に延期となった聖火リレーは、日数やルートなどの基本的なフレームを尊重しながら、島根県では2021年5月15日（土）、16日（日）に実施される予定です。

## 2. 県内ルート

別紙（東京2020オリンピック島根県聖火リレールート）のとおり  
※それぞれの市町村内で聖火ランナーによるリレーを行い、終了後、次の市町村へ車両移動を繰り返します。

## 3. 聖火ランナー

県選考ランナー44名（43名の個人ランナーに加え、10名から構成されるグループランナー（1名扱い））の他、スポンサーが選定した126名のランナーを加えた、合計170名（実質179名）のランナーが走行します。

## 4. 1日の流れ

各市町村において、聖火歓迎イベントが行われた後に、リレーが行われます。終了後、次の市町村へ車両移動が行われ、聖火歓迎イベントの後リレーが行われます。各市町村30分～1時間程度の実施時間です。

各日の終わりには、セレブレーション（1日目：邑南町役場駐車場、2日目：国宝松江城）と言われる2時間程度のイベントが行われた後、リレーは次日に引き継がれます。